

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11024	2	前期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	疫学・保健統計論 (Epidemiology/Health Care Statistics)				
担当教員名	比江島 欣慎				
授業の概要及び到達目標					
<p>人の健康・生命に関連する分野において、生活習慣と疾病の発生、治療と症状の改善などで代表される因果の関係は、極めて関心の高い話題の1つです。因果を推論するために、多くの研究・調査が実施され、その結果を基に多くの方は意志決定を行っています。こうした研究・調査を正しく実施したり、その結果を基に正しい意志決定を行ったりするためには疫学・統計学の知識は必要不可欠です。この講義では、因果推論に必要とされる疫学・統計学の基本的な知識を身につけ、その応用ができるようになることを目指していきます。</p>					
準備学習等					
<p>毎回の講義を受けるに当たっては予習よりも復習に力を入れてください。毎回の講義に出席してノートを取り、その都度講義内容を復習し、講義のはじめに実施されるミニテストで理解できているかどうかを確認してください。ミニテストの解説は実施後すぐに行います。</p>					
成績評価の方法	<p>定期試験（100%） ただし再試験については1度のみ実施します。</p>				
テキスト	特に指定しません。				
参考図書	<p>「宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ」, 佐藤俊哉： 岩波科学ライブラリー (ISBN-10: 4000074547) .</p> <p>「基礎から学ぶ 楽しい疫学 第3版」, 中村好一： 医学書院 (ISBN-10: 4260016695) .</p> <p>「ロスマンの疫学 科学的思考への誘い」, 矢野栄二, 橋本英樹： 篠原出版新社, (ISBN-10: 4884122682).</p> <p>「ぜんぶ絵で見る 医療統計 身につく！研究手法と分析力」, 比江島欣慎： 羊土社 (ISBN-10: 4758118078).</p> <p>「医療統計学入門」, 比江島欣慎：オーム社 (ISBN-10: 4274050181).</p>				

備 考	質問等は授業終了後、教室で受け付けます。 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。
授 業 計 画	
<p>第 1 回 疫学って何？ 疫学とは何か、なぜ看護師に必要なのかなどを中心に本講義を受けるに必要な動機付けを行います。</p> <p>第 2 回 データサイエンスの基礎-その 1-（1 年次の復習） 1 年次に履修したデータサイエンスの復習を行います。</p> <p>第 3 回 因果推論-その 1- 演繹、帰納といった原因と結果の関係を探るために必要な考え方の基本を学びます。</p> <p>第 4 回 因果推論-その 2- カウンターファクチュアルモデルについて学びます。</p> <p>第 5 回 疫学研究のデザイン 各種研究の分類と代表的な疫学研究のデザインを学びます。</p> <p>第 6 回 疫学に用いられる指標（コホート研究） 前向き系の研究に用いられる指標について、コホート研究を例に学習します。</p> <p>第 7 回 疫学に用いられる指標（ケースコントロール研究） 後ろ向き系の研究に用いられる指標について、ケースコントロール研究を例に学習します。</p> <p>第 8 回 真の状態と研究結果のずれ（バイアス） 様々な種類のバイアスについて解説がなされ、それらと研究デザインとの関連を学びます。</p> <p>第 9 回 交絡バイアスとその対処法 交絡バイアスの発生メカニズムを理解し、研究計画時に実施できる対処法を学びます。</p> <p>第 10 回 年齢調整死亡率 交絡バイアスの対処法の例として年齢調整死亡率について学習します。</p> <p>第 11 回 SMR（標準化死亡比） 交絡バイアスの対処法の例として SMR について学習します。</p> <p>第 12 回 疫学の利用-その 1-（スクリーニング） 各種診断の開発において用いられる指標について学びます。</p> <p>第 13 回 疫学の利用-その 2-（感染症） 感染制御における疫学の利用について学びます。</p> <p>第 14 回 各種データの解釈について 疫学に関連したデータの解釈について学びます。</p> <p>第 15 回 総復習</p>	